

# 補足情報

---

**液晶ディスプレイ - 22 ワイド**  
(VL-222SSW/VL-222SWY)

# 目次

はじめに	3
<b>1 本製品の特長</b>	5
<b>2 各部の名称と機能</b>	7
<b>3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール</b>	10
初めて電源を入れるとき	10
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	10
<b>4 液晶ディスプレイのセットアップ</b>	11
AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）	11
エコ機能	12
画質を選ぶ	14
細かい設定を行う	15
調整項目の内容	16
画質モードと調整項目の組み合わせ	18
入力切り換えについて	18
<b>5 省電力機能</b>	19
<b>6 トラブルシューティング</b>	20
画面がおかしい	20
画面調整ができない	23
音が聞こえない／変な音が聞こえる	24
<b>7 日常のお手入れ</b>	25
清掃する	25
<b>8 リサイクル</b>	26
<b>9 付録</b>	27
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	27
2 台のコンピューターを接続する	30
画面の角度調整	31
<b>10 仕様</b>	32
本体仕様	32
標準表示仕様	34
コネクタ仕様	35
外形図	36

# はじめに

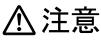
このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

## ■マニュアルについて

- ・ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。  
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- ・画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

## ■警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

## ■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-222SSW ／ VL-222SWY	本製品

## ■ 商標および著作権について

VESA、DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

# 1 本製品の特長

## 1 大画面・高解像度・省スペース

- ・22型ワイドの大画面です。
- ・1680×1050ドットの高解像度で精細に表示できます。
- ・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用し、また奥行きも少ないため、ワークスペースを広く使えます。

## 2 DDC/CI 対応

本製品は、VESA の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。コンピューター本体が DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って画面を設定できます。

## 3 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター、スキャナー、デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

### POINT

► sRGB とは、ディスプレイ、スキャナー、デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンタで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。sRGB の設定については、「細かい設定を行う」(→ P.15) をご覧ください。

## 4 親切な自動調整機能

初めて入力された解像度（モード）でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度（モード）を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

## 5 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



## 6 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームや壁掛けキットに取り付けることができます。

### POINT

► 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、または壁掛けキットを取り付けるインターフェースです。

インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類があります。本製品では 100mm × 100mm に対応しています。

## 7 LED エコモード

周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、周囲の明るさに加え表示する画像に応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、およびワンタッチで明るさを最小にする機能の 3 モードを搭載しています。

本機能を使用すると、最大約 35% の消費電力を低減できます。

## 8 スピーカー内蔵

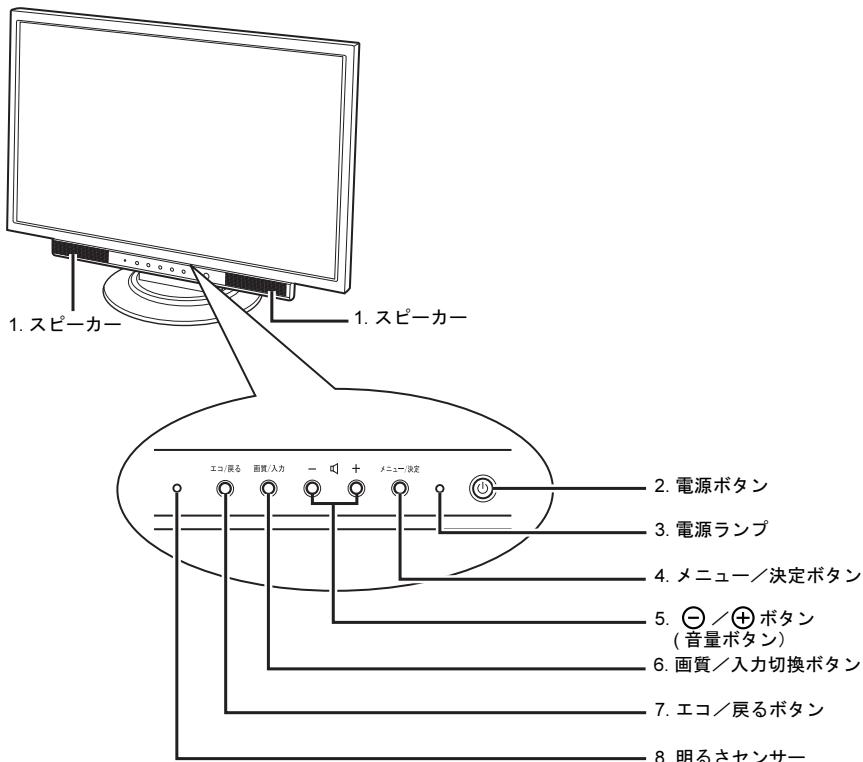
ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

## 9 2 系統入力対応

アナログとデジタルの二系統の入力が可能です。

## 2 各部の名称と機能

### ■ 前面



#### 1 スピーカー

音声を出力します。

#### 2 電源ボタン (○)

本製品の電源オン／オフを切り替えます。

#### 3 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

「省電力機能」(→ P.19)

#### 4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、調整値を保存するときに使用します。

「細かい設定を行う」(→ P.15)

## 5 ⊖／⊕ボタン（音量ボタン）(LOUD)

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整したりするときに使用します。  
メニュー画面が表示されていないときは液晶ディスプレイのスピーカー音量を調整できます。

## 6 画質／入力切換ボタン

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに使用します。

「画質を選ぶ」(→ P.14)

また、入力切り換えをするときに使用します。

「入力切り換えについて」(→ P.18)

## 7 エコ／戻るボタン

LED エコモードの「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」を切り替えます。

「LED エコモード」(→ P.12)

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

## 8 明るさセンサー

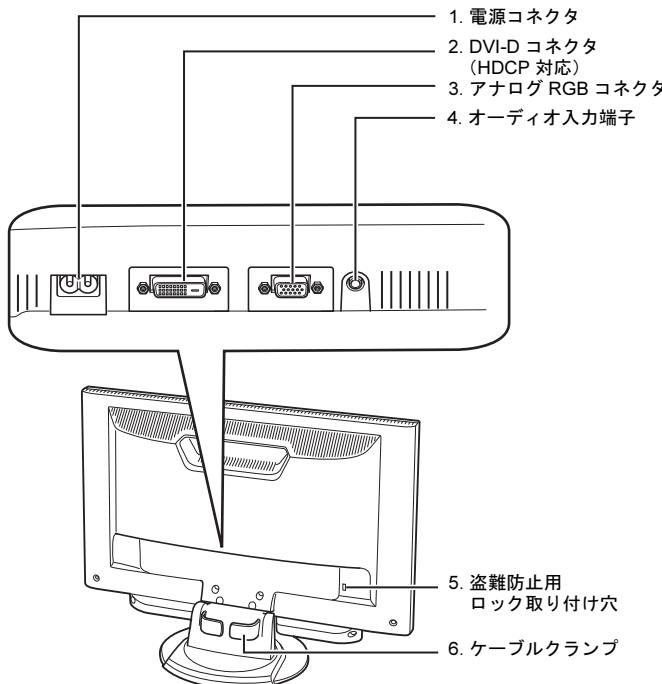
LED エコモードを「オート」「インテリジェントオート」に設定した場合に、周囲の明るさを検知して最適な輝度に調整します。

### △重要

▶ LED エコモードを「オート」「インテリジェントオート」に設定した場合、物を置くなどで明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

明るさセンサーの前には物を置かないでください。

## ■ 背面



### 1 電源コネクタ

添付の電源ケーブルを接続します。

### 2 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) (図)

コンピューター本体と添付のDVI信号ケーブルで接続します。

#### POINT

▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本製品は、HDCP 技術を用いてコピー・プロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

### 3 アナログ RGB コネクタ (図)

コンピューター本体と添付のアナログ信号ケーブルで接続します。

### 4 オーディオ入力端子 (図)

コンピューター本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

### 5 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

### 6 ケーブルクランプ

ディスプレイに接続したケーブルを通します。

### 3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール

---

#### 初めて電源を入れるとき

コンピューター本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

##### POINT

▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

#### 最新のINFファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー（INF ファイル）は、富士通製品情報ページ ([http://www.fmworld.net/biz/fmv/index\\_down.html](http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html)) よりダウンロードできます。

「ドライバダウンロード」をクリックし、周辺機器（ドライバー、修正モジュール、ディスプレイ INF ファイルダウンロード）の「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

# 4 液晶ディスプレイのセットアップ

## AUTO セットアップアクション機能 (アナログ入力時)

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めて液晶ディスプレイを本体に接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

### 重要

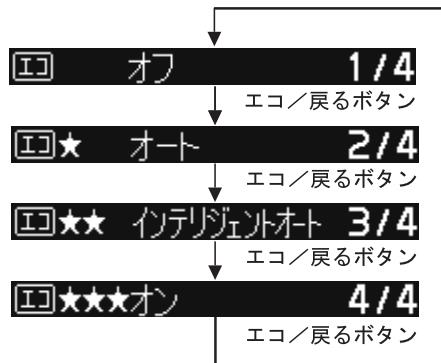
- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.34）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューターの画面全体を白など明るい色にすることをお勧めします。メモ帳などを全画面表示にしてから、メニュー画面で自動調整（→ P.16）を行ってください。

## エコ機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能や、削減された消費電力を表示する機能が搭載されています。

### ■ LED エコモード

LED エコモードとは、画面の明るさを抑え消費電力を低減する機能です。LED エコモードには「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」の 4 種類があり、通常時の消費電力を最大で約 35% 低減することができます。エコ／戻るボタンを 1 回押すと、現在の LED エコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能	省電力効果
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面を表示します。	—
オート	明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、周囲にあわせて画面の明るさを下げることで消費電力を低減します。	★ (低)
インテリジェントオート	明るさセンサーに加え、表示する画像によって画面の明るさを下げることにより、消費電力を低減します。	★★ (中)
オン	画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少なくなります。	★★★ (高)

### 重要

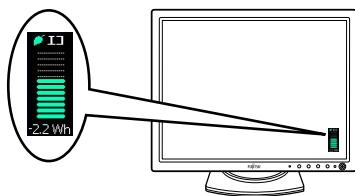
- ご購入時は、LED エコモードが「オフ」に設定されています。
- 明るさセンサーの前には物を置かないでください。LED エコモードを「オート」または「インテリジェントオート」に設定した場合、物を置くなどして明るさセンサー (→ P.8) を覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検出できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。
- LED エコモードと明るさ調整の関係は、次のようにになります。LED エコモードが「オン」の範囲は、明るさ調整値が 25 以下です。明るさ調整値が 25 を超えると、LED エコモードは「オフ」に設定されます。
- LED エコモードが「オン」の範囲内で明るさを調整した場合、調整した値は記憶され、次回からの LED エコモードの「オン」の設定になります。

## ■エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。

電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量が変化したときに一定時間表示され、自動的に消えます。

エコゲージは、メニュー／決定ボタン（→P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ」（→P.16）で表示、非表示を切り換えることができます。



### POINT

▶エコゲージで表示している数値およびバーは、LED エコモードやエコブートを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

## ■エコブート

エコブートとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度より小さい解像度（1024 × 768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。

エコブートはメニュー／決定ボタン（→P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコブート」（→P.16）でオン、オフを切り換えることができます。

### POINT

▶解像度が 1280 × 1024 の場合は、エコブートは動作しません。

## ■累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。

累積電力削減量（kWh）とその累積電力削減量を CO2 換算した値（kg）の 2 種類を表示します。累積電力削減量とは LED エコモードやエコブートを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

メニュー／決定ボタン（→P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」（→P.16）で表示できます。

「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO2 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量リセット」（→P.16）でリセットできます。

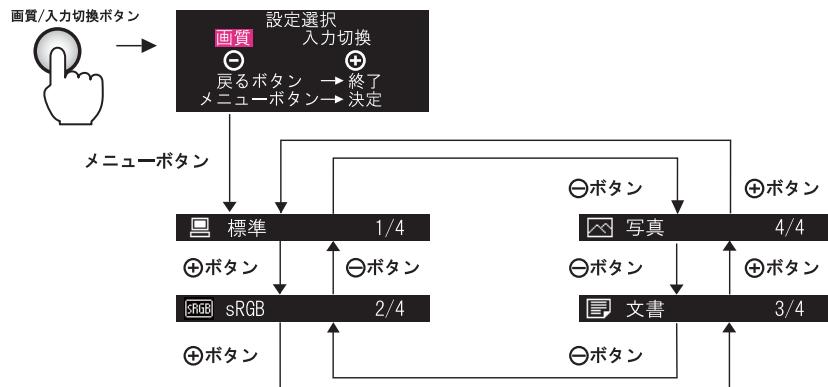
### POINT

▶「累積電力削減量」には、本製品が節電状態に入っている間（→P.19）に削減された電力量は含まれておりません。

## 画質を選ぶ

画質／入力切換ボタン（→ P.8）を押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

画質／入力切換ボタンを押すと、「設定選択」画面が表示されます。「設定選択」画面で「画質」を選ぶと、「画質選択」画面が表示されます。続けて⊖／⊕ボタンを押すと、次のように選択が変わります。



ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

モード名称	モードの用途など
標準	標準的な設定のモードです。このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
sRGB	コンピューターの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。
文書	メールや文書の作成など、背景に白が多い表示のときに最適なモードです。明るさが下がり、文字が見やすくなります。
写真	デジタルカメラの画像やWeb閲覧などのグラフィック表示を鮮やかに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

### △ 重要

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、設定選択画面は表示できません。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／入力切換ボタンを押してください。  
メニュー画面については、「細かい設定を行う」（→ P.15）をご覧ください。
- ▶ 細かい画質の調整は画質選択で「標準」を選択後、メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示させて行ってください。  
画質の調整項目については、「調整項目の内容」（→ P.16）を参照してください。

## 細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。

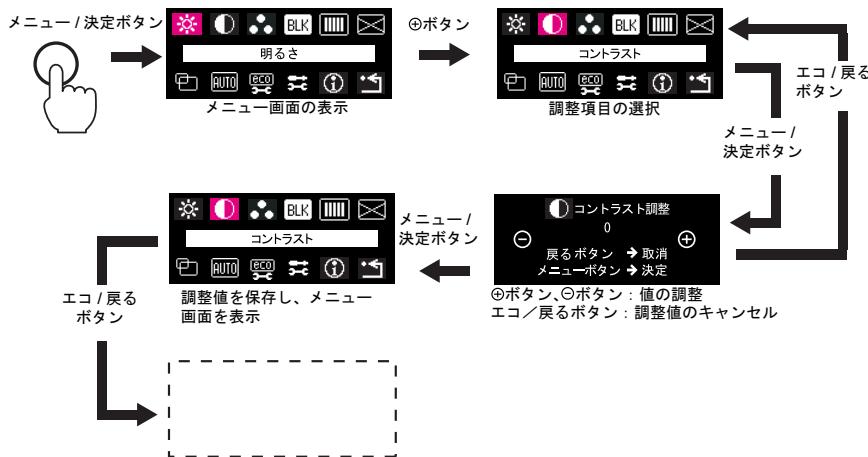
## ■メニュー画面の基本的な操作

## □ ボタンの基本機能

- |            |                  |
|------------|------------------|
| メニュー／決定ボタン | → メニュー表示／決定      |
| ⊖／⊕ボタン     | → 選択／調整／音量調整     |
| 画質／入力切換ボタン | → 画質／入力切換メニュー表示  |
| エコ／戻るボタン   | → LED エコモード切換／取消 |

## □ 操作手順

例) コントラストを調整する場合



メニュー画面が表示されている状態でボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された設定内容で画面が表示されます。

## 重要

- ▶ 解像度を変更しても保存された設定内容で画面が表示されます。
  - ▶ 水平サイズ、フォーカス、画面位置の調整については、解像度ごとに設定値を保存します。

## 調整項目の内容

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル	
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します（画質モード「標準」でのみ調整可能）。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	カラー調整	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤／緑／青の色合いを個別に設定できます。（画質モード「標準」でのみ調整可能）。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	黒レベル	黒色のレベルを任意に設定できます（画質モード「標準」でのみ調整可能）。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。	<input type="radio"/>	—	
	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。	<input type="radio"/>	—	
	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。	<input type="radio"/>	—	
	自動調整	画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。自動調整する場合は画面全体を白など明るい色にすることをお勧めします。 「AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）」（→ P.11）	<input type="radio"/>	—	
	エコ設定	消費電力の削減に関する機能の設定をします。			
	エコゲージ	エコゲージ（→ P.13）の表示、非表示を切り替えます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	エコブート	エコブート（→ P.13）のオン、オフを切り替えます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量（kWh）と累積の電力削減量をCO2換算した値が表示されます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	累積電力削減量リセット	累積電力削減量および累積CO2削減量の値をクリアし、ゼロにします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	その他の設定	その他の設定をします。		
	ミュート	オンになると、本製品のスピーカー出力を停止します。 ミュートがオンのときに音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。	○	○
	DDC/CI	VESA DDC/CI <sup>注1</sup> のオン、オフを切り替えます。 なお、DDC/CIをオンに設定可能なのは、画質モードが「標準」と「sRGB」の場合のみです。	○	○
	ワイド画面切換	各解像度（モード）の画面を画面全体に拡大するか、縦横比を維持して拡大表示するかを選択します。 1680 × 1050、1440 × 900、1280 × 800、720 × 400 および標準表示仕様以外の解像度（モード）の画面を表示している場合は、本メニューは選択できません。 ワイド：画面全体に拡大します <sup>注2</sup> 。 ノーマル：画面の縦横比を維持して拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります <sup>注3</sup> 。	○	○
	ロゴ表示	起動時のロゴ表示をするかしないかを設定します。	○	○
	ボタンロック	メニュー／決定ボタン、⊖／⊕ボタン、画質／入力切換ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 ボタンロック中にこれらのボタンを押すと、画面に「ボタンがロックされています」と表示されます。ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを3秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続けてください。	○	○
	情報表示	現在設定されている解像度（モード）と周波数、入力コネクタが表示されます。またアイコンでスピーカー、DDC/CI、画質モード、エコブート、エコゲージ、LED エコモード、ワイド画面切換、ロゴ表示の状態を確認できます。HDCP アイコンは、本製品がHDCP規格に対応していることを表しています（HDCP アイコンはアナログ接続時には表示されません）。	○	○
	リセット <sup>注4</sup>	オール：すべての項目をご購入時の設定に戻します。 カラー：色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。	○	○

注 1: 本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注 2: 一部の解像度では画面全体の拡大ではなく、上下に黒帯が出る表示になります。

注 3: 解像度（モード）が1280 × 1024の場合は、拡大表示は行わず1:1（ドットバイドット）表示となります。

注 4:リセット（オール／カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。  
ただし、「LED エコモード」と「明るさ」はリセット（カラー）の対象外です。

## ■ 音量調整

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、 $\ominus$  /  $\oplus$  ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。 $\oplus$ ボタンを押すと音量が大きくなり、 $\ominus$ ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュートがオンのときに音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 画質モードと調整項目の組み合わせ

○ : 選択可 × : 選択不可

	標準	sRGB	文書	写真
明るさ	○	○	○	○
コントラスト	○	×	×	×
カラー調整	○	×	×	×
黒レベル	○	×	×	×

## 入力切り換えについて

本製品には 2 つの入力コネクタ（アナログ RGB コネクタ : □「アナログ入力」、および DVI-D コネクタ : ④「デジタル入力」）があります。

初めてご使用になる場合は、入力を自動で検出して表示を出しますが、それ以降は次の手順で入力を切り換えてください。

1 画質／入力切換ボタンを押し、入力切換を選択して切り替えます。



画質／入力切換ボタンを押し、入力切換を選択すると、現在選択されている入力が「アナログ入力」の場合は「デジタル入力に切り替えますか?」、「デジタル入力」の場合は「アナログ入力に切り替えますか?」とメッセージが画面に表示されます。

### ※ 重要

▶ 画質／入力切換ボタンで切り換えた入力コネクタへの入力がないと、「節電に入ります」と画面に表示されます。その後、本製品は省電力状態になります。このときは、画質／入力切換ボタンで入力を選び直してください。

# 5 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピューター本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューター本体のマニュアルをご覧ください。

コンピューター 本体の状態	本製品の動作					本製品の 消費電力
	画面表示	本製品の 電源供給元	電源 ボタン	電源 ランプ	LED エコ モード	
通常状態	表示あり	コンセントま たはコン ピューター本 体のアウト レット	オン	緑	オフ	最大時：28W (オーディオ 動作時) 出荷 時 <sup>注1</sup> ：20W (出荷輝度設 定時)
					オン	LED エコモー ド「オン」時： 15W
映像出力オフ <sup>注2</sup>	表示なし	コンセントま たはコン ピューター本 体のアウト レット	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時： 0.4W
スリープまたは 休止状態	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時： 0.4W
		コンピューター本体のアウトレット	オン	消灯	オン／オフ	0W
—	表示なし	コンセント	オフ	消灯	—	0.3W <sup>注3</sup>

注 1: ご購入時の状態で、明るさを特に調整しないでかつスピーカーを使用しない状態での消費電力です。

注 2: コンピューター本体の省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープまたは休止状態に移行する前の状態です。

注 3: 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0 にすることができます。

# 6 トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

## 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさ」(→ P.16)
画面が暗くなつた	LED エコモードが「オート」「インテリジェントオート」または「オン」になっている。 明るさセンサーが何かに覆われている。 明るさの設定値が小さすぎる。	エコ/戻るボタンを押して、LED エコモードを「オフ」に設定してください。 明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。 メニュー画面より明るさを調整してください。	「LED エコモード」(→ P.12) 「各部の名称と機能」(→ P.7) 「明るさ」(→ P.16)
	表示解像度が本製品の推奨解像度(→ P.34)より小さい解像度(1024 × 768 など)で使用されており、エコブートが動作している。	エコブートをオフにしてください。	「エコブート」(→ P.13)
	液晶パネル内部の LED バックライトが、長期使用で暗くなつてている。	有償にて交換(補修用性能部品単位)させていただきます。詳しくは「故障・修理に関するお問い合わせ先」、または購入元にご連絡ください。	『取扱説明書』
画面いっぱいに表示されない	ワイド画面切換が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切換を「フル」に設定してください。 ただし、1024 × 768 ドット以下の解像度(モード)では、上下に黒帯を表示し、画面いっぱいに表示されない場合があります。	「ワイド画面切換」(→ P.17)、 「標準表示仕様」(→ P.34)
	画面位置の調整が適切でない(アナログ信号入力時)。	水平サイズの調整を行つた後に画面位置の調整を行つください(アナログ信号入力時)。	「水平サイズ」(→ P.16)、 「画面位置」(→ P.16)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない	画質モードが「写真」に設定されている。	画質モードの設定を別の画質モードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.14)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面の縦横比が崩れてしまう	ワイド画面切換が「ワイド」になっている。	ワイド画面切換を「ノーマル」に設定してください。	「ワイド画面切換」(→ P.17)
	コンピューターの設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.34)、コンピューター本体のマニュアル
	コンピューターの設定が720×400の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を720×400以外の解像度（モード）に変更してください。	コンピューター本体のマニュアル
1680×1050または1280×1024より小さい解像度を設定していてもエコブート機能が働かない。	コンピューターによっては、1680×1050または1280×1024より小さい解像度を設定した場合、推奨解像度に拡大して出力される場合があります。	メニュー画面の「情報表示」で、解像度を確認してください。推奨解像度になっている場合、エコブート機能はお使いになれません。	「エコブート」(→ P.13)、「調整項目の内容」(→ P.16)「標準表示仕様」(→ P.34)
ワイド画面切換が選択できない。	コンピューターの設定が、ワイド画面切換できない解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を、標準表示仕様の解像度（モード）にしてください。ただし、次の解像度（モード）は除きます。1680×1050、1440×900、1280×800、720×400	「標準表示仕様」(→ P.34)、コンピューター本体のマニュアル
格子状の表示画面がちらつく（アナログ信号入力時）	フォーカスがあつっていない。	フォーカスを調整してください。	「フォーカス」(→ P.16)
帯状（縦）のしま模様が見えることがある（アナログ信号入力時）	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」(→ P.16)、「フォーカス」(→ P.16)
画面がはみ出る（アナログ信号入力時）	画面位置の調整が適切でない。	自動調整を実施してください。それでもなお画面がはみ出る場合は、水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）」(→ P.11)、「水平サイズ」(→ P.16)、「画面位置」(→ P.16)
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.34)、コンピューター本体のマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.34)、コンピューター本体のマニュアル

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	『取扱説明書』-「コンピューター本体と接続する」「2 台のコンピューターを接続する」(→ P.30)
文字の大きさが場所によって異なる	1680 × 1050 よりも低い解像度(モード)になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の大きさが異なる場合があります。最適な画面にするには、コンピューター本体の「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度を 1680 × 1050 に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.34)、コンピューター本体のマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない(アナログ信号入力時)。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください(アナログ信号入力時)。	「水平サイズ」(→ P.16)、「フォーカス」(→ P.16)
電源投入直後や OS の起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピューター本体のマニュアル
画面を切り換ても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピューターの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある(もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→ P.7)
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」(→ P.14)
	LED エコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	LED エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「LED エコモード」(→ P.12)
画面が消えたり、ノイズが出たりすることがある(デジタル信号入力時)	デジタル入力信号が適切でない。	コンピューター本体のデジタル出力仕様(1680 × 1050 の解像度サポート)を確認してください。	コンピューター本体のマニュアル
2台以上のマルチディスプレイを表示したとき、画面の色調が若干異なって見える	装置の個体差によるもの。	画質モードを「sRGB」に設定、あるいはカラーを調整してください。	「画質を選ぶ」(→ P.14)、「カラー調整」(→ P.16)

## 画面調整ができない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを3秒以上(メニュー画面が表示されるまで)押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」(→ P.17)
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「失敗しました。マニュアルをごらんください」	画面全体が極端に暗い色を表示している状態で自動調整が行われた。	画面全体を白など明るい色にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTO セットアップアクション機能(アナログ入力時)」(→ P.11)、「自動調整」(→ P.16)
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度(モード)を確認し、コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「情報表示」(→ P.17)、「標準表示仕様」(→ P.34)、コンピューター本体のマニュアル
メニュー画面の自動調整が選択できない	デジタル入力でコンピューターと接続している。	デジタル入力でコンピューターと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	—

## 音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「ミュート」 (→ P.17)
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、 $\ominus$ / $\oplus$ ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(→ P.7)
	コンピューター本体の画面の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューター本体のマニュアル
	コンピューター本体の音量設定がミュートになっている。	タスクバーの「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、ミュートの設定を解除してください。	コンピューター本体のマニュアル
	本製品が省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能」 (→ P.19)
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューター本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	『取扱説明書』-「コンピューター本体と接続する」「2 台のコンピューターを接続する」(→ P.30)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

# 7 日常のお手入れ

## 清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体から抜いてください。

### ■ 重要

▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。

- ・アルカリ性成分を含んだもの
- ・界面活性剤を含んだもの
- ・アルコール成分を含んだもの
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・研磨材を含んだもの

など

▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。

- ・柔らかい布をご使用ください。
- ・力を入れすぎないようにしてください。

▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

### □ 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



### □ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



# 8 リサイクル

---

## ■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

- ・個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、弊社ホームページ「富士通パソコンリサイクル」(<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

# 9 付録

## アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。  
ドライバーをご用意ください。

### ※ 重要

- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
  - ・取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm × 100mm である
  - ・M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
  - ・14kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの (M4 × 10mm) を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

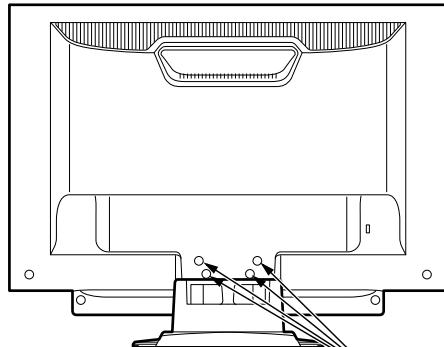
- 1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。
- 2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

### 3 スタンドを取り外します。

ネジ（4ヶ所）を外した後、スタンドを取り外します。

#### ⚠ 注意

- ・スタンドを必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



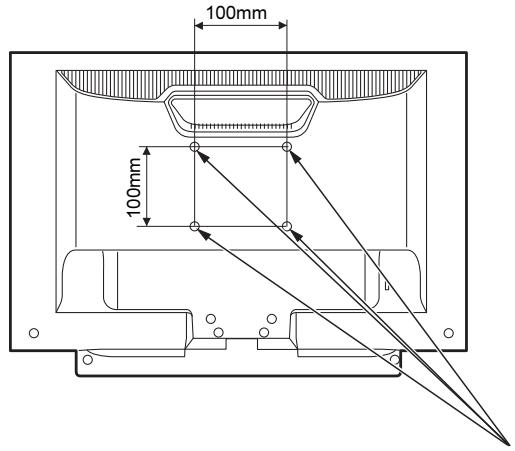
ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

#### POINT

- ▶取り外したスタンドとネジは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

### 4 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

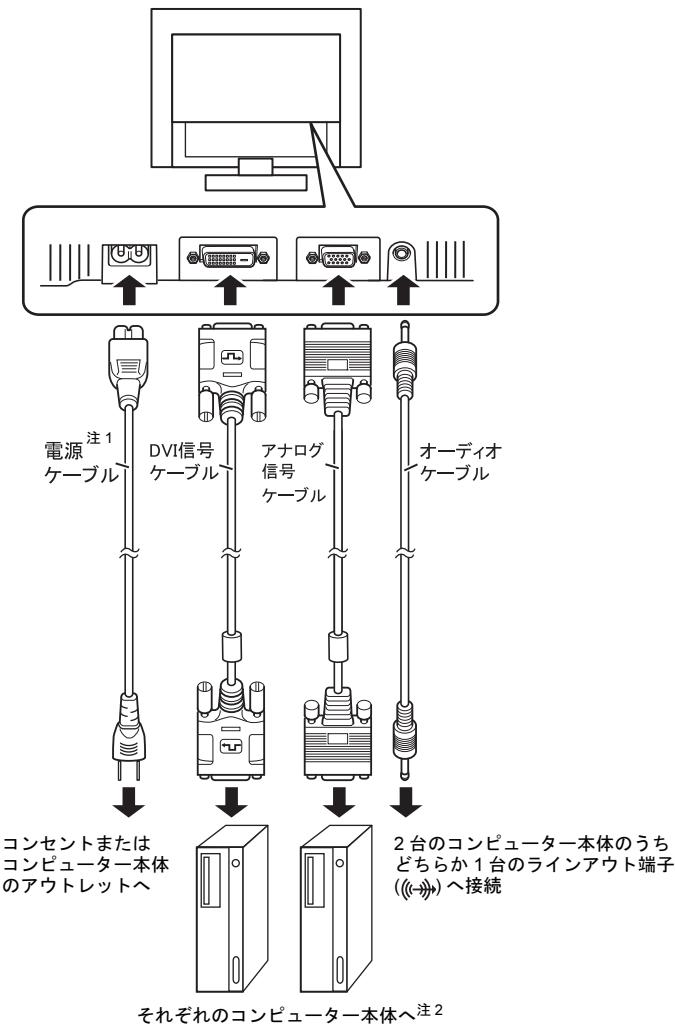
## 5 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

### POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

## 2台のコンピューターを接続する

2台のコンピューターを接続するときは、次のように接続してください。

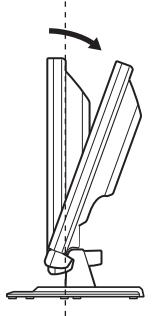


注1: 製品には、同梱されている電源ケーブルを使用してください。また、  
電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

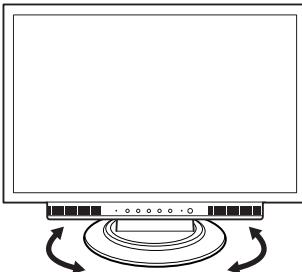
注2: DVI信号ケーブルやアナログ信号ケーブルは、コアの付いていない側  
のケーブル端を本製品に接続してください。

## 画面の角度調整

ディスプレイの上下・左右の角度を調整するときは、ディスプレイの両端を掴み、任意の角度に調整してください。



上 : 20°  
下 : 0°



左右 : 45°

# 10 仕様

## 本体仕様

項目	仕様
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン) <sup>注1</sup>
	DVI-D コネクタ (DVI-D) <sup>注1</sup>
	オーディオ入力端子 (φ3.5 ステレオミニジャック)
表示部	画面サイズ
	表示寸法
	液晶パネル
	解像度
	画素ピッチ
	表示色
	輝度
	コントラスト比
	応答速度
機能	視野角
	表示モード
	プラグアンドプレイ
	チルト
	スイーベル
電源	壁掛け
	入力
	最大消費電力
	LED エコモード「オン」時消費電力
	最小消費電力 (省電力動作時 <sup>注2</sup> )
音声部	電源ボタン「オフ」時 <sup>注3</sup>
	最大出力
	スピーカー
	再生周波数帯域 (ユニット)
外形寸法	506mm (W) × 397mm (H) × 211mm (D)
質量	約 4.2kg (本体) 約 3.7kg (表示部)
使用環境	温度
	湿度

注 1: 本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注 2：コンピューター本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 3：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0 にすることができます。

## 標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています。  
(走査方式がインターレースの信号は対応していません。)

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

No	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	720 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○	○
3	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○	—
4	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○	—
5	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○	○
6	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○	—
7	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○	—
8	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○	○
9	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○	—
10	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○	—
11	1280 × 800	49.3kHz	60Hz	○	○
12	1280 × 800	49.7kHz	60Hz	○	○
13	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	○	○
14	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	○	—
15	1440 × 900	55.5kHz	60Hz	○	○
16	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	○	○
17	1680 × 1050	64.7kHz	60Hz	◎	◎
18	1680 × 1050	65.3kHz	60Hz	○	○

### ◆ 重要

- 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面から手動で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- 1680 × 1050 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- 解像度（モード）が 1280 × 1024 ドットの場合、「ワイド画面切換」（→ P.17）で「ノーマル」を選択すると、拡大表示は行わず、1:1（ドットバイドット）表示となります。
- 1024 × 768 ドット以下の解像度（モード）では、上下に黒帯が入り、画面いっぱいに表示されない場合があります。
- 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

## コネクタ仕様

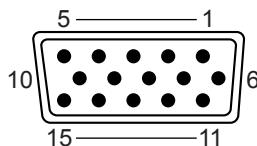
### ■アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

#### 端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R (映像)	(6)	GND	(11)	NC <sup>注</sup>
(2)	G (映像)	(7)	GND	(12)	DDC DATA
(3)	B (映像)	(8)	GND	(13)	水平同期
(4)	NC <sup>注</sup>	(9)	DDC+5V	(14)	垂直同期
(5)	GND	(10)	GND	(15)	DDC CLOCK

注 NC: 未接続

#### 端子配列図



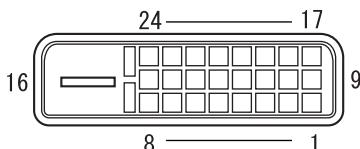
### ■デジタル（DVI-D コネクタ）

#### 端子配列表

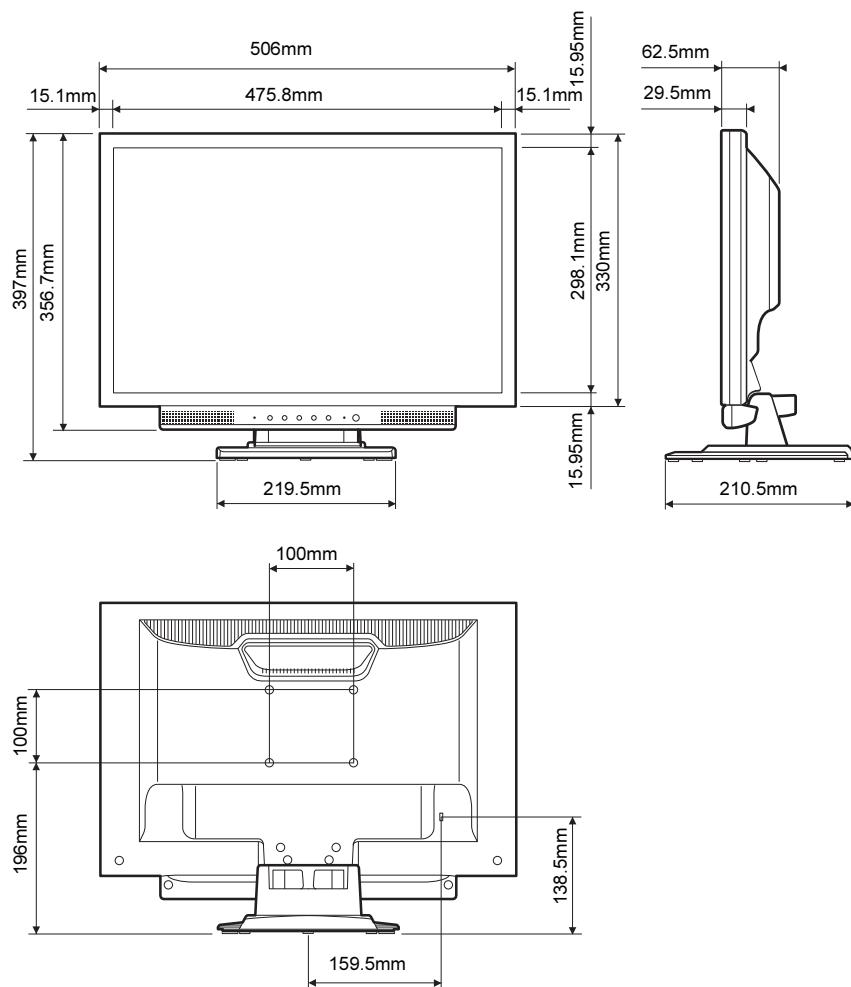
No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC <sup>注</sup>	(12)	NC <sup>注</sup>	(20)	NC <sup>注</sup>
(5)	NC <sup>注</sup>	(13)	NC <sup>注</sup>	(21)	NC <sup>注</sup>
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	NC <sup>注</sup>	(16)	HPD	(24)	TXC-

注 NC: 未接続

#### 端子配列図



## 外形図



---

**液晶ディスプレイ - 22 ワイド (VL-222SSW/VL-222SWY)  
補足情報**

B6FY-1751-01 Z0-01

発行日 2013年1月  
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。